

間伐材ハンガーを被災地に届けました

11月中旬、7月より製作を続けてきました間伐材クラブのメンバーが被災地に『間伐材ハンガー』を届けてきました。



被災者の方々より暖かいお礼の言葉を頂きましたので、ハンガー制作にご協力をいただいた方々、寄付へのご協力をいただいた方々への感謝の意を表して報告します。

- ① 平成23年11月15日（火） 13:50～14:20
宮城県名取市役所災害復興部
名取市災害復興部長 他

名取市の被害状況は死者911名、不明者65名で、仮設住宅では2,065世帯5,636名が生活をされています。

当日は、間伐材ハンガー950セット（4,750本）を引き渡し、名取市災害対策部長の相澤氏より被災者に代わって謝辞を受けました。「これから冬場に向け衣服が増えるのでハンガーはいくつあっても助かります。ハンガーを制作いただいた皆さん、また購入等にご協力いただいた皆さんにくれぐれもよろしくお伝えください」との伝言をお受けしました。



名取市災害復興部長に直接「間伐材ハンガー」をお渡ししました。
仮設住宅の方々に配っていただきます。



子供たちがデザインしてくれたハンガーも一緒に届けました。
感心してくれています。

以下、名取市災害復興部長よりいただいた謝辞全文

間伐材クラブ事務局 さま

今回、ご訪問によります手作り木質「間伐材ハンガー」のご支援、まことにありがとうございました。全てを失った方々にとって、これからの時期、ジャンパーや防寒着なども含め衣類の整理に欠かせない品物です。プラスチック製品が多い中で、今回のような暖かみのある、自然の素材である木質製品は、愛着を持ってご利用頂けると思います。生活に役立てて頂けるように早急にお配りしたいと思います。

また、子供さん方の可愛い絵を入れていただいたハンガーは、同じく年代の幼稚園で使用して頂くことしております。改めて、心のこもった活動に対し、深く感謝申し上げます、御礼とさせていただきます。

平成 23 年 11 月 17 日 名取市役所 震災復興部 相澤 利広

② 平成 23 年 11 月 16 日 (火) 11:00~11:30

福島県いわき市社会福祉センター

いわき市社会福祉協議会地域福祉課課長 他

いわき市は津波の被災者だけでなく原発事故による避難者の仮設住宅もありました。いわき市では一度避難したものの、忘れ物等を自宅に取りに戻って犠牲になった方が多くおられたとのお話を聞きました。

当日は、中央台第一区仮設住宅にお伺いし、仮設住宅の新妻区長に間伐材ハンガー200セット(1,000本)を引き渡しました。仮設住宅の集会所におられたお年寄りの方より「今までありそうでなかったのがハンガーで、クリーニングで使われる針金のもので間に合わせていたので、これから冬場に向かう中、衣服も多くなりこのハンガーは非常に助かるし、大事に使わせていただきます。」とのお話をお伺いしました。



いわき市の仮設住宅にお伺いしました。



仮設住宅に間伐材ハンガーを届けました。



仮設住宅の区長に直接手渡ししました。



お年寄りも喜んでいただきました。

③ うれしい電話が…

また、突然、いわき市にお住まいの方から間伐材クラブへ一本の電話がありました。

「友達のところに間伐材ハンガーが届いて、綺麗なハンガーを皆さんでお作りになったんですね。すごく素敵であったかい贈り物だったので、もしよろしければ私共にも送っていただけませんか。」との内容でした。

本当に嬉しかったです！！よろこんで頂けることがこんなに嬉しいなんて、電話で何度もお礼を言っていました。

インターネットで住所を調べて地図でみると、こんなに遠くからご連絡を頂くなんて…すぐにいわき市に送る予定です。

④ その他 間伐材ハンガーの送り先

- ・岩手県盛岡市 菊池木工所 50 セット (250 本)



岩手県の沿岸部は工場などの仮復旧工事が少しずつ始まっているようですが、個人のお家の再建はこれからだそうです。大工さんの人数が足りず、内陸部の工事現場も止まっている状況で大工さんも大変な状態だそうです。でも頑張りますと力強いメッセージを頂きました。

箱を開けて本当に感動いたしました。ハンガーの出来もさることながら、メッセージに涙が出そうになりました。木の香りもとてもよく、とても癒され皆さまの優しさが伝わってまいりました。本当に、本当にありがとうございます。沿岸の被災された方々にひとつひとつ手渡しで届けてまいります。

- ・岩手県盛岡市 SAVE IWATE 100 セット (500 本)
- ・岩手県田野原村 200 セット (1,000 本)
- ・宮城県南三陸町、気仙沼大島 120 セット (600 本)

